

調査により把握できる主な内容について

【高齢者一般調査】

質問項目		分析軸	クロス集計のねらい
問 4－1	住居に関する問題	住居形態（問 4）／居住地区（問 3＋問 3－2）	○ 在宅生活を支える住まいの問題について、住居形態、居住地区による特性を分析する。
問 8	基本的 A D L	年齢・性（問 1＋問 2）／家族介護力（問 6＋副問）／主観的幸福観（問 21）	○ 年齢・性や家族介護力、主観的幸福観（モラール・スケール）と A D L との関連を分析する。
問 9	高次 A D L		
問 12	体調の変化	最近 1 年間の転倒経験（問 13）／最近 1 年間の入院経験（問 10）／飲酒習慣（問 14）／喫煙習慣（問 15）／運動習慣（問 19）	○ 低栄養・睡眠障害・うつ傾向などの有無と生活習慣等のリスク要因間の関連を分析する。
問 21	うつ傾向		
問 21	主観的幸福観（モラール・スケール）	近隣とのつきあい（問 17）／社会活動への参加の有無（問 18）	○ 社会的関係や参加状況と主観的幸福感との関連を分析する。
問 22	心身の変化への留意	年齢・性（問 1＋問 2）／主観的幸福観（問 21）	○ 年齢・性や主観的幸福感と自らの健康状態への意識の高低との関連を分析する。
問 25	介護予防の取り組みとして実行していること	年齢・性（問 1＋問 2）／社会活動への参加の有無（問 18）／心身の変化への留意（問 22）	○ 心身の状態への改善意識の高低や社会活動状況と、介護予防の取り組み状況との関連を分析する。
問 26	介護予防の取組の希望	年齢・性（問 1＋問 2）／A D L（問 8・9）	○ 年齢・性や A D L の程度と利用したい介護予防の取組との関連を分析する。
問 27	将来希望する暮らし方	基本的 A D L（問 8）／高次 A D L（問 9）／家族介護力（問 6＋副問）	○ 高齢者の状態像や家族介護力と在宅志向・施設志向との関連を分析する。
問 28	在宅生活を続けるために必要な支援	居住地区（問 3＋副問）／家族介護力（問 6＋副問）／外出の頻度（問 20）／将来希望する暮らし方（問 27）	○ 在宅生活を継続するために必要な機能として、居住地区、家族介護力による特性を分析するとともに、外出の状況や在宅志向・施設志向との関連を分析する。

質問項目		分析軸	クロス集計のねらい
問 30	保険料の設定についての意向	介護保険料（問 29）	○ 第 1 号被保険者の保険料設定についての意向と、実際の保険料負担額との関連を分析する。

【若年者調査】（高齢者一般調査との共通項目に加えて、独自項目として以下のものが考えられる。）

質問項目		分析軸	クロス集計のねらい
問 21	心身の変化への留意	現在の職業（問 15 副問）	○ 介護予防に関する意識、取り組みの状況、希望サービスと就労形態との関連を分析する。
問 24	介護予防の取り組みとして実行していること		
問 25	介護予防の取組の希望		

【居宅サービス利用者／サービス未利用者調査】（高齢者一般調査との共通項目に加えて、独自項目として以下のものが考えられる。）

質問項目		分析軸	クロス集計のねらい
問 8	要介護状態の変化	要介護度（問 7）／介護サービスの利用状況（問 22）	○要介護度のランクやサービス利用と、要介護状態の改善・悪化状況との関連を分析する。
問 24 副問 1	入所申込みをした理由	施設への早急な入所希望（問 24 副問 3）	○早急な入所希望の有無と、入所申し込みの背景との関連を分析する。
問 30	将来希望する暮らし方	施設への入所申し込みの有無（問 24）	○施設入所の申込み状況と、将来の暮らし方への希望との関連を分析する。
問 39	負担が大きい家族介護の内容	要介護度（問 7）／施設への入所申し込みの有無（問 24）／家族介護者の年齢（問 38）	○介護者にとって負担が大きい家庭での介護について、要介護度、施設入所希望の有無、介護者の年齢との関連を分析する。